

※この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています

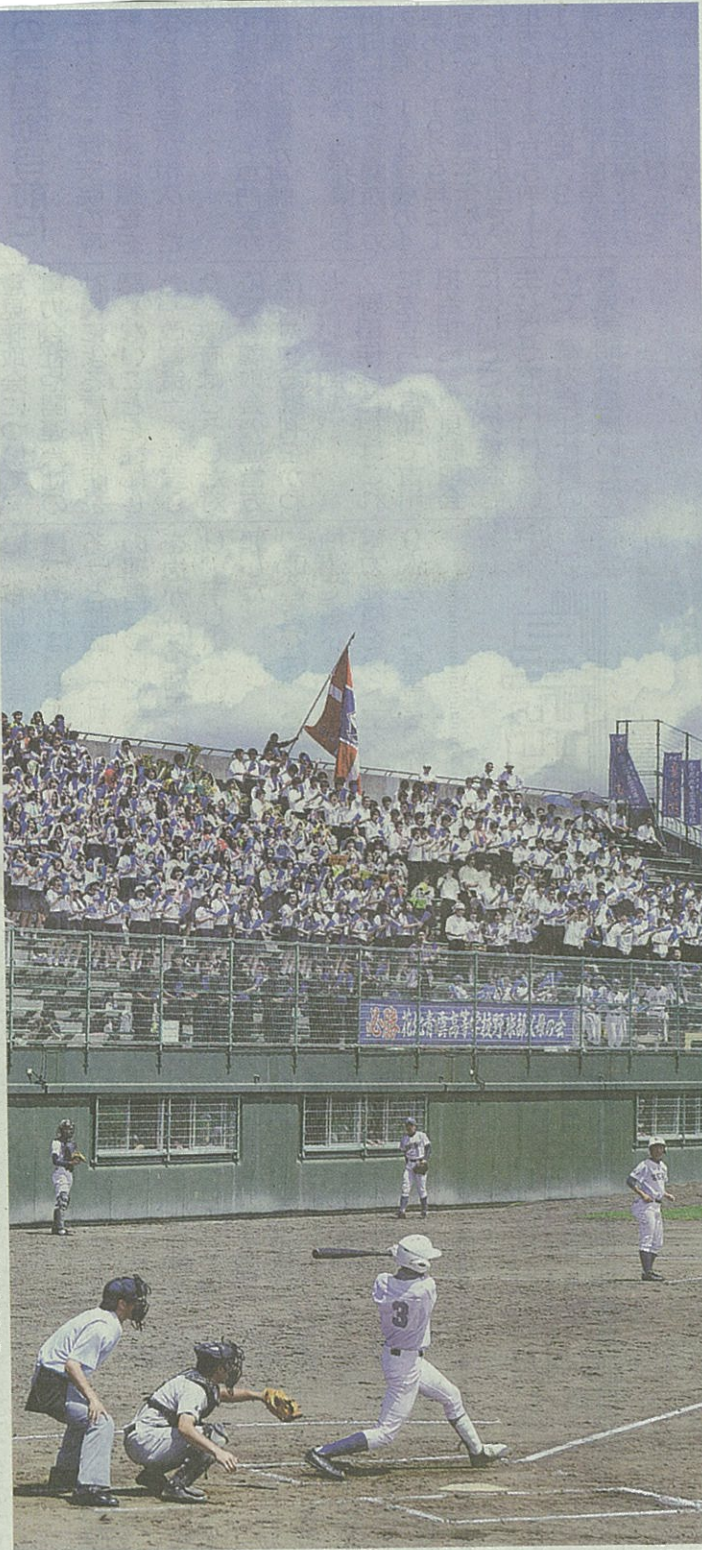
# 熱い暑い青春

## 県内3地点で真夏日

17日の県内は、梅雨前線が南下して高気圧に覆われ、気温が上昇した。盛岡地方気象台によると、最高気温は花巻で30・1度(平年比3・9度高)を記録。雨で順延となっていた全国高校野球選手権岩手大会は3日ぶりに再開され、球場に熱気と歓声に戻った。

最高気温は花巻のほか大迫30・1度(同3・5度高)、盛岡30・0度(同3・8度高)と3地点で真夏日を観測。大船渡26・6度(同1・8度高)、宮古21・6度(同2・2度低)だった。青空が広がった花巻市松園町の花巻球場では、熱戦を待ち望んだ大勢の観客や応援団が来場。盛岡市浅岸の社員佐々木隆さん(41)は「暑い中で応援する高校野球は気持ちが高ぶる」と声援を送った。

県内は18日も高気圧に覆われ、おおむね晴れか曇りとなる見込み。



夏空の下、再開した高校野球。うだるような暑さの中、熱戦が繰り広げられた。花巻市松園町・花巻球場

## ベスト8決まる



第94回 全国高校野球選手権大会 岩手大会

第94回全国高校野球選手権大会第8日は17日、盛岡市三ツ割の県営球場などで4回戦を行い、沿岸勢の大野に10-0、花巻

東も伊保内に10-0で、ともにコールド勝ち。水沢は延長の末4-3で大船渡東を下し、一関学院は7-3で盛岡中央を退けた。ノーシードの不来方は大東との打撃戦を6-5で制し、盛岡四は八回に一挙6点を奪い住田に7-0でコールド勝ちした。

18日は県営球場などで準々決勝4試合を行う。